

災害応急対策資材の流通在庫備蓄の開始について

記者発表資料

群馬県建設業協会は、3月11日に発生した東日本大震災の経験を振り返り、災害応急対策を担う建設業者として災害発生時に直ちに必要となるブルーシート、大型土のう袋、土のう袋を分散して備蓄することと致しました。

備蓄の方法は、災害応急対策資材を購入して購入先の流通会社に保管をお願いする流通在庫備蓄方式としました。

この流通在庫備蓄に関する協定の締結式を次のとおり行いますので、ご案内いたします。

1 日時 平成23年9月2日（金） 13時30分

2 会場 群馬建設会館 3階 理事会室

3 協定流通会社、流通在庫量

	ブルーシート	大型土のう袋	土のう袋
株式会社ヒロタ（前橋市）	700枚	350枚	7,000枚
小松総業株式会社（高崎市）	700枚	350枚	7,000枚
株式会社ホリグチ（渋川市）	600枚	300枚	6,000枚
流通在庫備蓄量	2,000枚	1,000枚	20,000枚

今後は、近県の建設業協会等に呼びかけお互いの災害応急対策資材の備蓄量を増やし、巨大災害に対する備えを一步でも強めてまいります。

平成23年 9月 1日

問い合わせ先

社団法人群馬県建設業協会

住所：群馬県前橋市元総社町2-5-3

電話：027-252-1666（代）

会長 青柳 剛

専務理事 田村 孝夫